

JR東労組新潟 OB会ニュース

東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部OB会
〒950-0086 新潟市中央区花園1-1-1

発行責任者
山崎次男

参院選 会員の皆様のご協力に感謝!

厳しい選挙総括を深め、今後の活動に生かそう!

7月10日投開票された参議院選挙結果は、比例区たしろかおる候補が次点で落選の残念な結果でした。また、一方新潟選挙区では、森ゆう子野党統一候補は見事当選を勝ち取りました。

地本OB会は、2年に亘りたしろ再選に向けて取り組んだ会員の皆様のご協力に感謝するとともに、敗北してしまつた現実を厳しく総括し、今後を生かしていくべきです。

本部OB会は、上信越ブロック(高崎・長野・新潟地本)三役会議に於いて古川会長の『敗北という冷徹な現実から総括しなければならぬ』の挨拶を受け厳しい総括議論を行いました。全会員の率直な議論をお願いします。

総括の視点

① たしろかおるは前回を1003票上回る113,571票を獲得しましたが、民進党内の当選者は約250,000票差の次点でした。新潟県では前回より492票増の3,423票、山形県では211票増の1,753票を獲得したが、目標には達せず、敗北した。

② 東や北海道、沖縄は獲得票を上積みしたものの西方面は減となったこと、また、出身県である栃木県の獲得票が意外と伸びなかったこと。JRグループ労組

や支援労組との協力体制づくりの検証。そして今後の票拡大に向けた方向性について。

③ 安倍自公政権の「憲法」や「安保」問題の争点隠し戦略を崩せず、憲法改「正」に必要な発議権を与える結果となつてしまつたこと。

④ OB会は「たしろ応援プロジェクト」に参加し、現役と力を合わせ取り組みました。特に会員宅訪問を現役と一緒に実施し、大きな成果がありました。しかし、各支部ごとのアンバラーや中途半端に終わってしまったことは残念でした。

⑤ 口ごもる会えない郵送会員宅を訪問し、旧交を温めることが出来たこと。

⑥ 4月以降重要な時期に現役は「総対話行動」に力が入り、支持拡大行動や教宣活動などがストップ状態となり、足が止まつてしまつたこと。

⑦ 7月1日の中で支部OB会で工夫し、やることを実施したこと。

⑧ 安保法廃止に向けた総がかり実行委員会の取組みに各地で参加、野党統一候補が実現し、勝利することが出来ました。圧倒的に多い改憲勢力の中で、今後も野党統一候補の取組みは必要です。

以上が総括視点です。様々な場で議論し、総括を深め今後を生かしましょう

今年度は 組合カレンダー を希望者に送ることになりました

支部総会に参加しよう!

直江津支部第18回定期総会

9月8日(木) 16時～
割烹 鳥まん

長岡支部第16回定期総会

9月28日(水) 14時～
割烹仕出し 「はら屋」

新潟支部第16回定期総会

10月20日(木) 16時～
新潟駅前 クオリス

昨年未本部より配布され好評だった「東労組カレンダー」(S1写真入り)について今年度は、本部全員で希望者のみ無料配布することになりました。

また先の地本OB会総会で要望のあったカレンダーに「OB会」名が入ることになりました。

◆エルダー会員は本部OB会費を納入し、登録されている全員に配布します

◆各支部OB会員に希望者を募りますので、所属支部に申し込んでください。

◆支部OB会未結成の酒田・村上・支社の会員の皆様は直接 地本OB会 高橋事務長に申し込んで下さい。(電話番号は別紙)

地本OB会の締め切りは、10月23日となりますので、早めの申し込みをお願いします。

柏崎刈羽原発運転差止裁判 第16回口頭弁論傍聴報告 (K/S)

8月30日、15時から新潟地裁で第16回口頭弁論が行われました。また開廷前の14時から県弁護士会館で裁判前集会を開催し原告代理人の和田弁護士から裁判所の動向や今後の進め方などの説明が行われました。

①裁判所は原告の論点整理を行っている。②中越沖地震の弱点をまとめ裁判所へ提出し、今後つめて行く。③今日の裁判は、47の準備書面「45〜47号」の概要説明を行い法廷へ向かいました。



法廷へ向かう原告団とサポーター

今回の裁判は、原告の意見陳述は行われず、高野弁護士から原告準備書面45号(被告準備書面16号で東電が示した震源を特定して策定する観測地震の予測精度で用いられている耐専式や強振動予測について)倍・半分程度の誤差は不可避であること。しかもこの誤差は、8、9割の地震学者の間では共有されている感覚である。新潟県版毎日新聞16年7月30日「以前からの常識です」を紹介して反証しました。

次に伊東弁護士が原発での重大事故(格納容器バイパスLOCA)について論証しました。格納容器バイパスLOC Aとは、原発事故対策最終防衛ラインとしてベントやフィルターベントが予定されているが、格納容器を貫通する配管は多数あり、それが破損し、隔離弁の閉止に失敗すれば、放射性物質は容易に外へ放出されてしまうことこの危険性を指摘し、大地震下でのバイパス配管の破断と電源喪失は想定すべきと指摘しました。

その上で東電が高台に設置している可搬式設備は、中越沖地震(M6.8)で道路が陥没)中越沖地震を超える大地震が発生した場合に可搬式設備は使用出来ないこと訴えました。

水内弁護士は、原発運転差止め訴訟の原告の立証責任と判断の枠組み論についてこれまでの主張に加え、大津地裁仮処分決定「高浜原発3、4号機運転差し止め仮処分申請」及び福岡高裁宮崎支部仮処分棄却決定「川内原発1、2号機の鹿児島地裁決定に対する即時抗告審(平成27年4月14日)のポイントを説明し裁判官に福島第一原発事故後の原発訴訟に相応しい司法の責務を果たして頂きたい。と訴えました。

今までの原告側主張は、伊方原発最高裁判決(平成4年10月29日)並びに滋賀原発2号機運転差し止め判決(平成18年3月24日)及び大飯原発運転差し止め判決(平成26年5月21日)をもとに行っています。

一方被告側は、原告準備書面17号、18号(基準地震動)に対する反論を行いました。常識判断ができていない弁論を行いました。

次回17回は 10月24日

第7交流回囲碁大会 地本OB会主催

熱戦! 歓声! タメ息! 和気あいあい!

7月13日、長岡市高齢者センター今朝日において、地本OB会主催の第7回交流回囲碁大会を開催しました。

長岡支部囲碁会の万全な準備の下、会員26名が参加、Aクラス8名、Bクラス8名、Cクラス10名の各クラスに別れ対局、熱戦を繰り広げました。時折「歓声」「やタメ息」が漏れるなど、真剣の中にも和気あいあいの雰囲気で行われました。終了後、場所を変えて盛大に慰労会を行い、懇親を深めました。



今日こそは 勝つぞ!!!



碁石に気持ちを込め「エイどうだ」

成績 (敬称略)

Aクラス

- 優勝 吉岡 智 (長岡)
- 2位 金垣 功 (長岡)
- 3位 三井敏男 (長岡)
- 4位 小山興治 (長岡)

Bクラス

- 優勝 野崎忠夫 (直江津)
- 2位 桑原 勲 (越後湯沢)
- 3位 真貝一郎 (長岡)
- 4位 斎藤建男 (新潟)

Cクラス

- 優勝 沖田晴夫 (長岡)
- 2位 宮崎勝治 (直江津)
- 3位 細貝慶一郎 (長岡)
- 4位 坂井政次 (長岡)